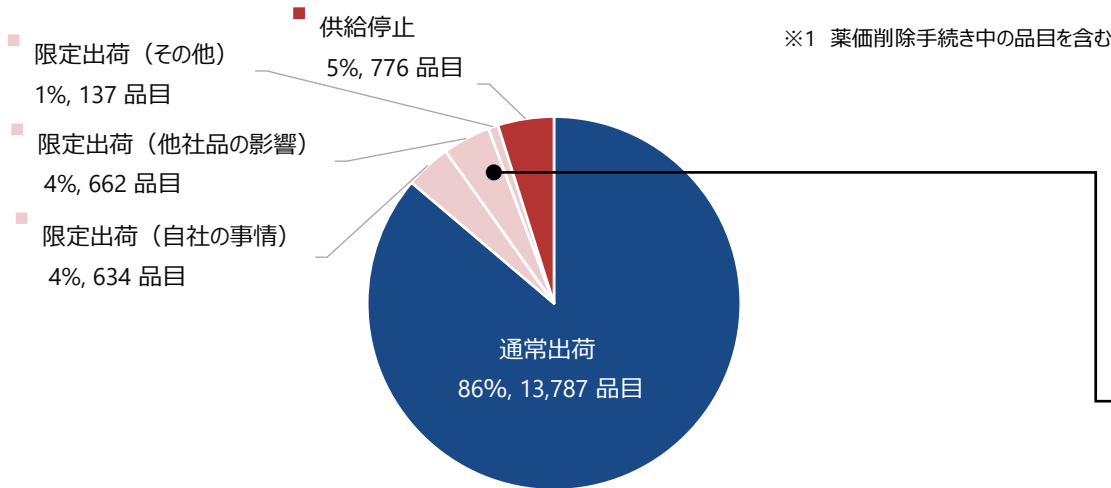


1 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年7月）

○ 製造販売業者の対応状況については、**限定出荷・供給停止が合計14%**（2,209品目）であり、限定出荷の要因としては「**他社品の影響**」によるものが**最多**であった。

1 医薬品全体の対応状況 ※1



カテゴリー別：「供給停止」、「限定出荷」の割合

2025年7月 調査結果	供給停止		限定出荷	
	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比
先発品	66	9%	103	7%
長期収載品 ※	41	5%	80	6%
後発品	463	60%	967	67%
その他医薬品 ※	206	27%	283	20%
合計	776	100%	1,433	100%

項目の定義

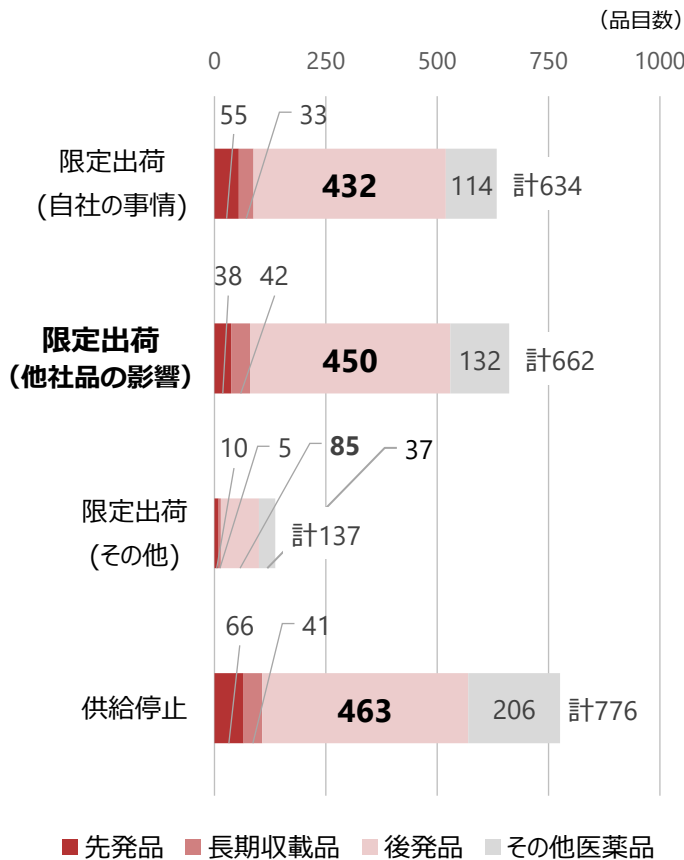
※長期収載品：後発品のある先発品

※その他の医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

カテゴリー別：限定出荷の要因（自社事情、他社品の影響）分析

2025年7月 調査結果	限定出荷						
	自社の事情		他社品の影響		その他		合計
先発品	55	9%	38	6%	10	7%	103
	53%		37%		10%		100%
長期収載品 ※	33	5%	42	6%	5	4%	80
	41%		53%		6%		100%
後発品	432	68%	450	68%	85	62%	967
	45%		47%		9%		100%
その他医薬品 ※	114	18%	132	20%	37	27%	283
	40%		47%		13%		100%
合計	634	100%	662	100%	137	100%	1,433
	44%		46%		10%		100%

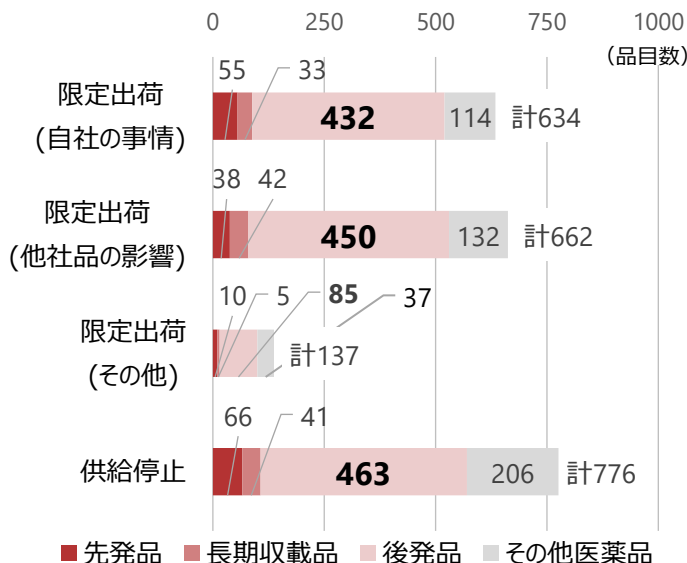
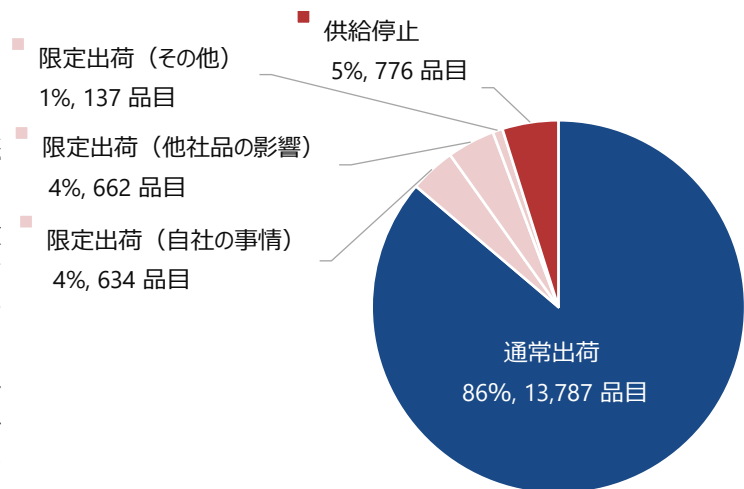
2 限定出荷・供給停止の内訳



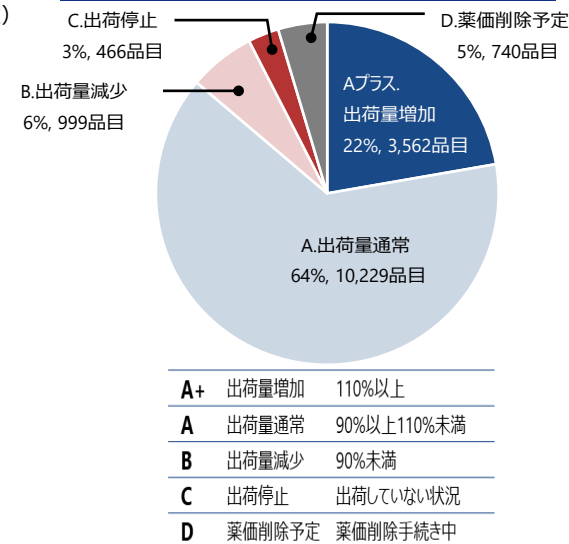
注：本集計については、令和6年度以前は「医薬品供給状況にかかる調査」（日本製薬団体連合会）、令和7年度以降は「医療用医薬品供給状況報告」（厚生労働省医薬産業振興・医療情報企画課）に基づく。以下同じ。

1-2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年7月） （薬価削除予定品目有無別）

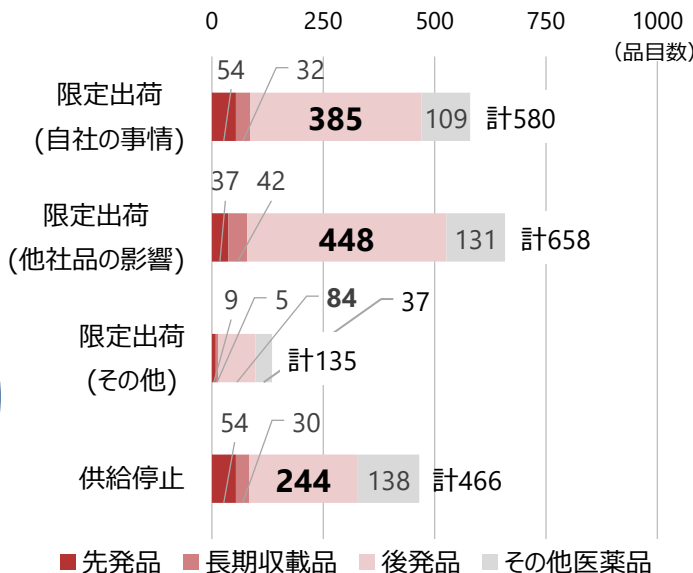
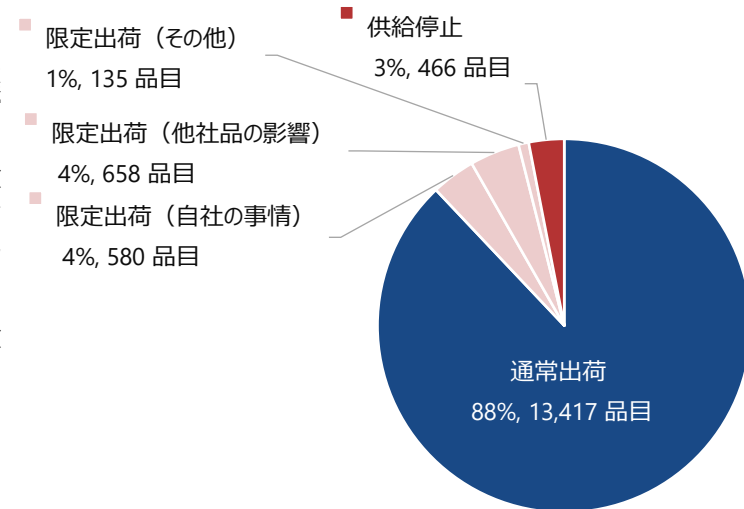
医薬品全体の対応状況



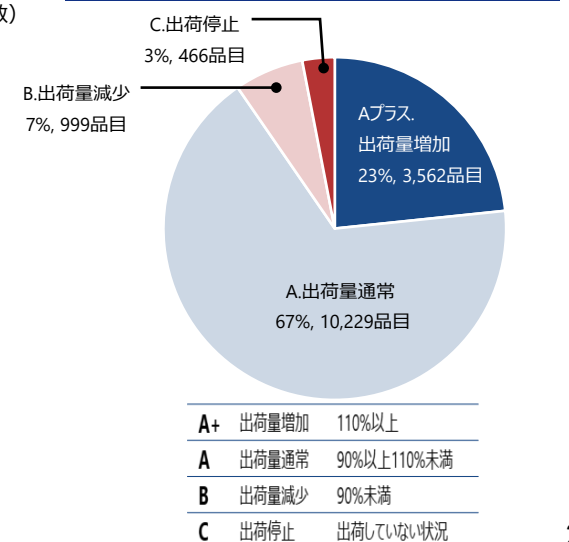
医薬品全体の出荷量の状況



医薬品全体の対応状況

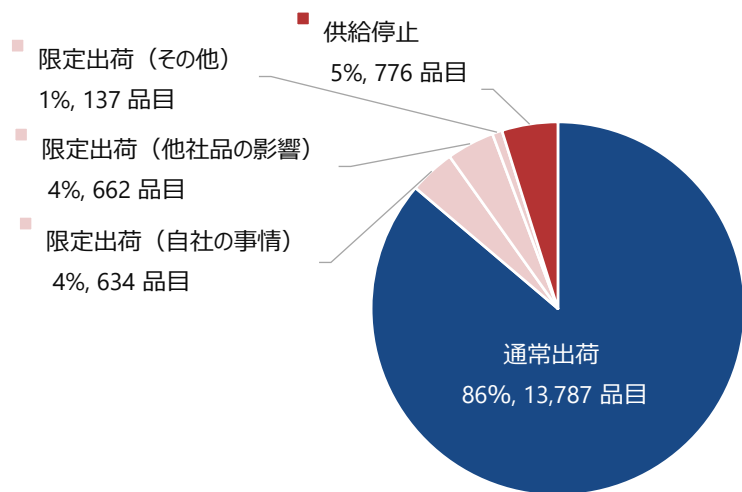


医薬品全体の出荷量の状況

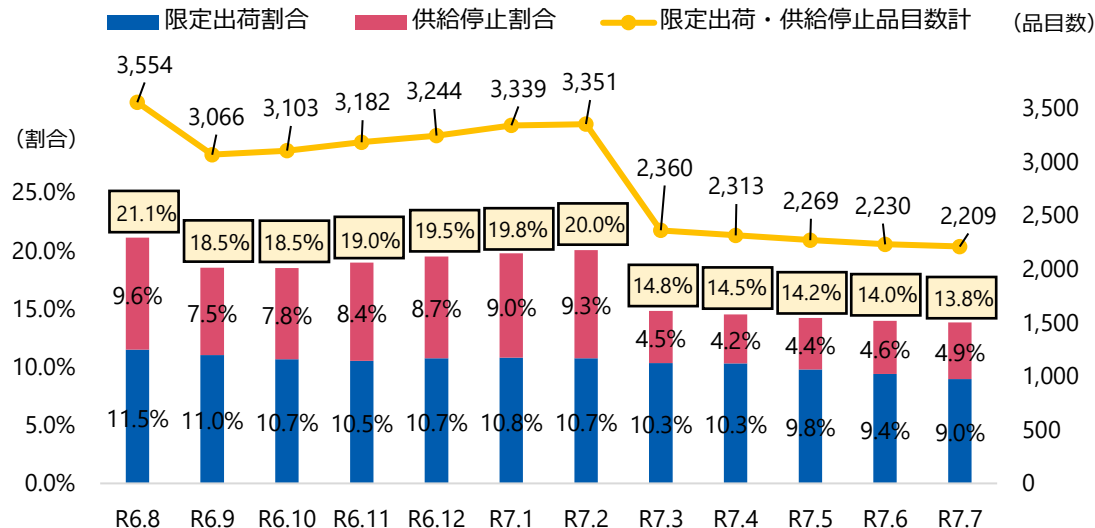


1-3① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和6年～7年度） （供給（限定出荷・供給停止）の状況）

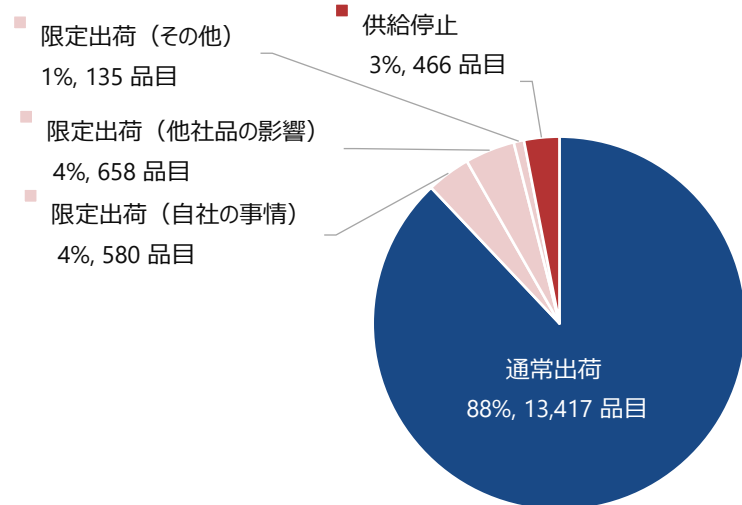
医薬品全体の対応状況（令和7年7月）



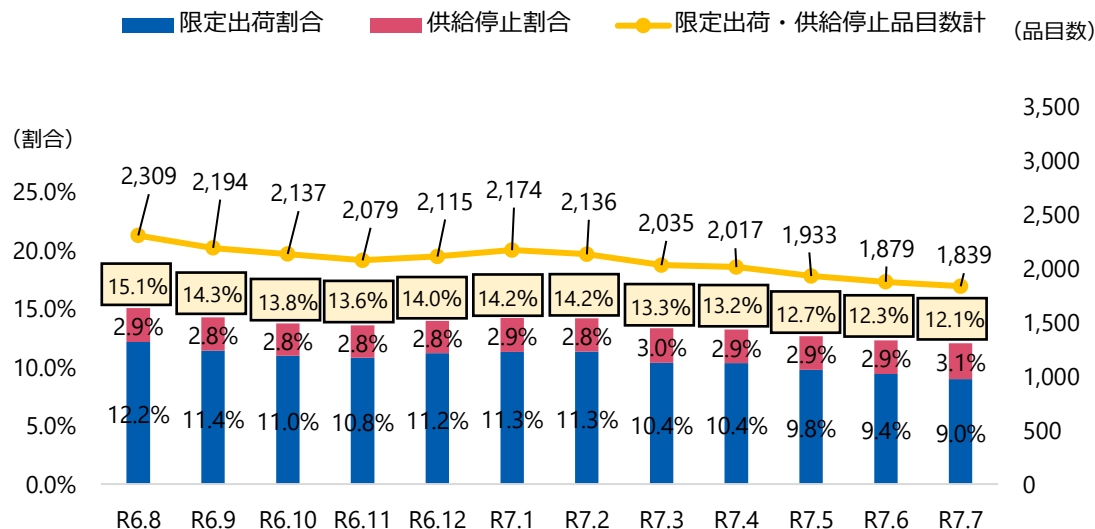
医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



医薬品全体の対応状況（令和7年7月）



医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移

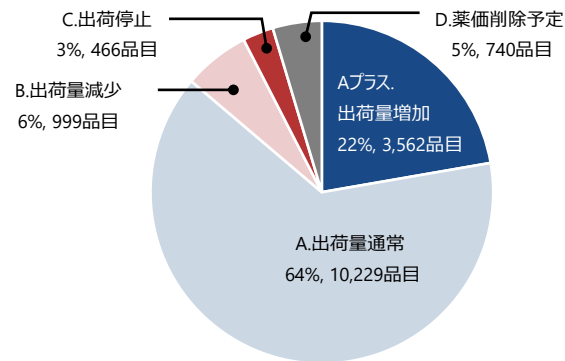


薬価削除予定品目含む

薬価削除予定品目除く

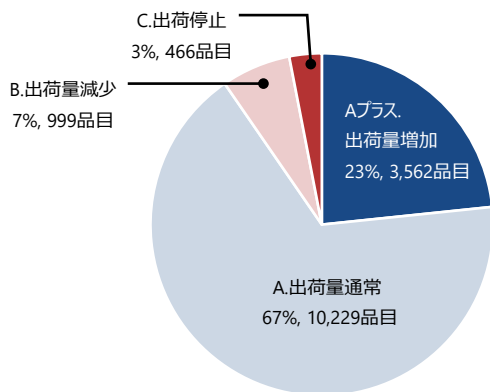
1-3② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和6年～7年度） （出荷量（減少・停止・薬価削除予定）の状況）

医薬品全体の出荷量の状況（令和7年7月）



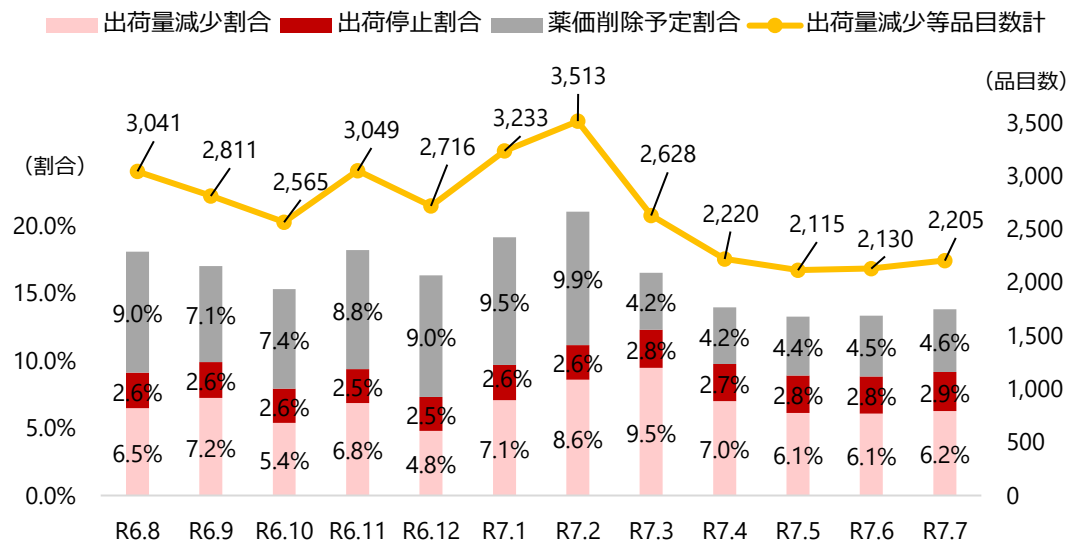
A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

医薬品全体の出荷量の状況（令和7年7月）

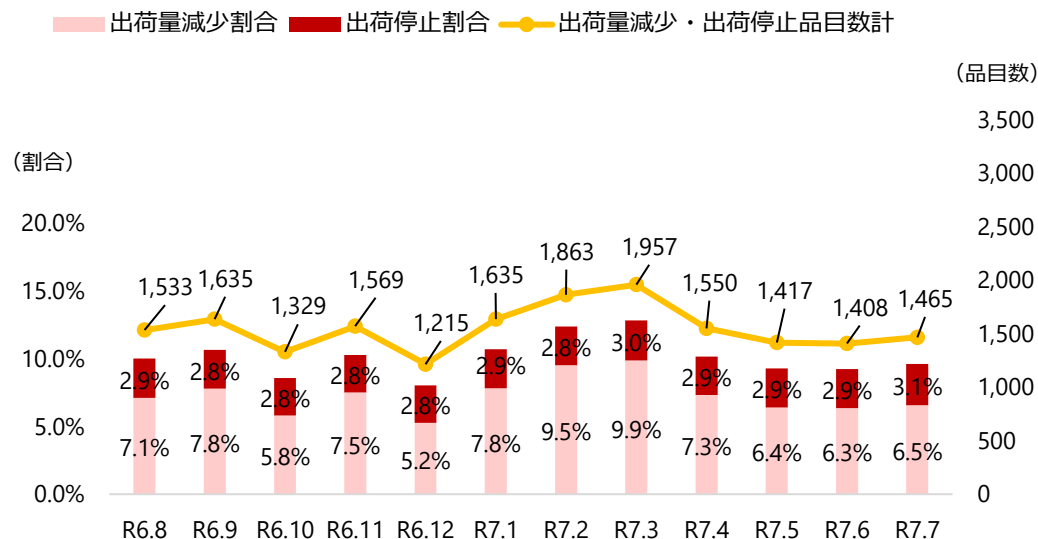


A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況

医療用医薬品の出荷量の推移



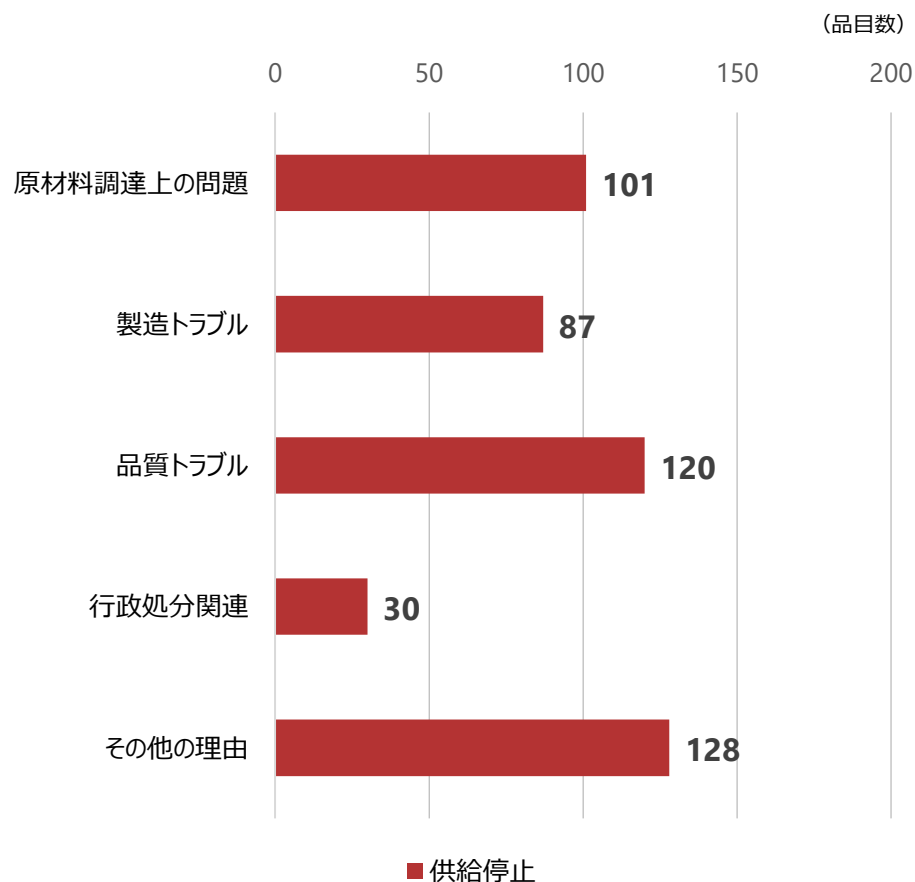
医療用医薬品の出荷量の推移



1-4 供給停止・限定出荷の理由（令和7年7月）

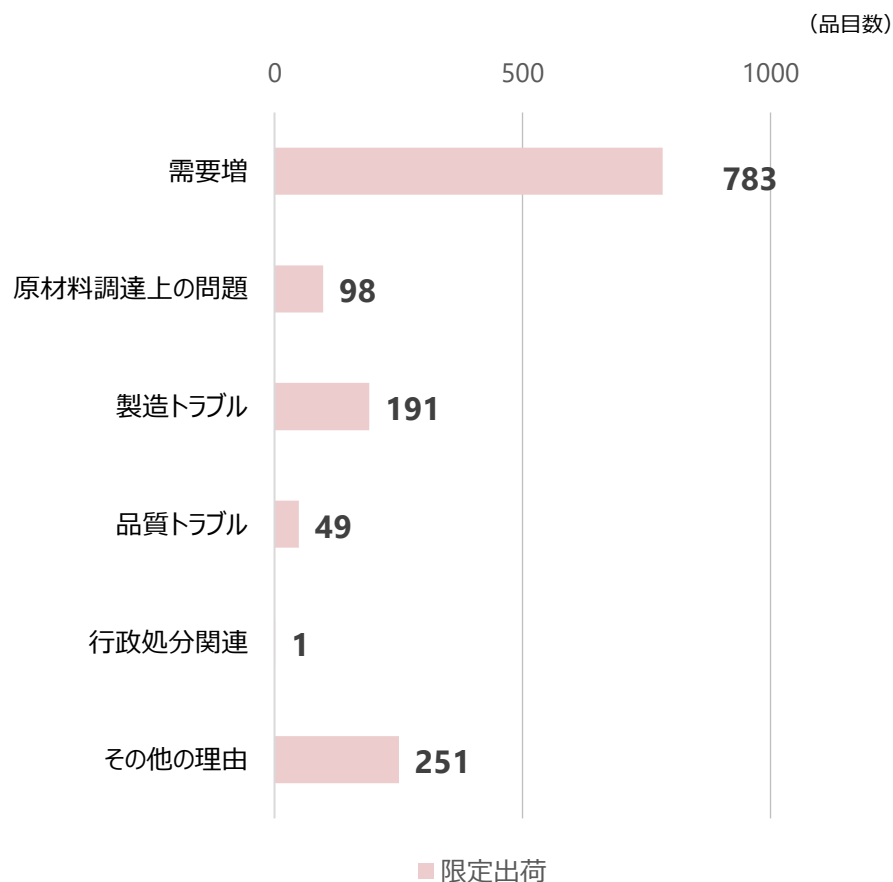
○ 供給停止776品目、限定出荷1,433品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。供給停止の理由は「その他の理由」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多であった。

1 供給停止の理由 ※1



※1 薬価削除が理由である310品目は除く。

2 限定出荷の理由 ※2

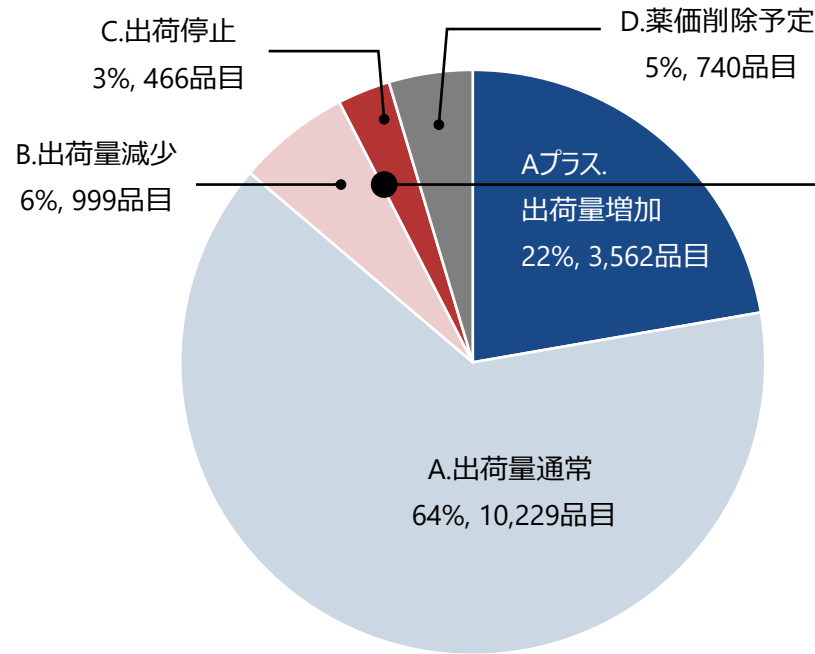


※2 薬価削除が理由である60品目は除く。

2 製造販売業者の出荷量の状況—医薬品全体（令和7年7月）

○ 製造販売業者の出荷量の状況については、**出荷量通常は合計86%**、出荷量通常以外の**出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定が合計14%**であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、いずれも「後発品」が最多であった。

1 医薬品全体の出荷量の状況



A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳

